ティーチング・ステートメント

所属 臨床工学科

名前 印藤 智一

作成日 2024 年 2 月 26 日

【責任】

臨床工学科で、基礎医学科目（生化学、医学概論）や臨床医学科目（微生物学、臨床生理学、病理学、公衆衛生学）の科目を担当し、ゼミ生の研究支援、大学院生の研究指導などの教育・研究活動を行っている。単に国家試験の合格を目指すだけではなく、特に心臓関係の知識を深めるために「心電図検定」受験を正課外で勉強会を開催して指導も行っている。課外活動ではバレーボール部の顧問も務めている。

【理念】

学生には臨床工学技士国家試験に合格し、病院をはじめとした臨床現場で豊富な知識と技術を持つ臨床工学技士として活躍できる人材になってほしい。現在の最新医療のなかでは、様々な機器が日進月歩で治療に使用される状況であり、常に新しい技術や知識の習得が求められている。そのためには学ぶ姿勢を怠らず、正確でミスのない業務を行うことが患者様の利益となる。また、臨床工学の分野でも未知な部分が多くあり、探求心を忘れずに研究する姿勢も維持してほしい。また、医療機関ばかりでなく、医療機器メーカーでのフィールドエンジニアとして活躍できる人材を育成したい。

医療施設では安全管理についても臨床工学技士が重要な役割を果たすことが多い。そのためには、危険を察知し、インシデントやアクシデントを未然に防ぐことが必要であり、有害事象が発生した場合には、その原因・要因の検討が必要になる。そのために、日常業務のなかから潜在的な危険に気づき、注意喚起をする積極性が事故防止に非常に有用である。

これらの実践力が身につくように、学生に必要な知識を伝えて基礎力を備え、学生の気づきの感性を磨き、自ら発信できる積極性を醸成する教育をしていきたい。

【方針・方法】

臨床工学技士になるためには、医学・工学両面での知識が必須であり、確実にそれらの事項を理解するために基礎科目、臨床専門科目の教育を充実化させる。また、気づきや発信力をつけるためには、実習科目での活動を通して、自ら新しい発見ができるように多角的な発想で物事を考え、その結果を積極的に発言するように促す場面を設けていきたい。

1. 基礎知識の修得
    - 本学の基礎教育科目でつまずきを感じている学生に対して、補習など個別対応を行い、学生の学修を支えていく。
    - 学習習慣が十分でない学生のために、資料の提示やスライドと板書との併用、小テストとフィードバックの対応等を行い、学ぶ姿勢を作る。

2. 専門知識の修得

- 専門科目では、知識の蓄積が必要となるので、重要なポイントの明示や動画を含めた授業資料の充実、実際に医療機器を使用した実習やグループワークによる学習など変化のある授業実践を行う。
- 最新の医療技術などについても授業内で触れ、卒後の将来像の構築につなげる機会を作る。
- 特に心臓に興味を持ち、関連業務への目標を持たせるために心電図勉強会を開催している。

3. 自発的な活動の推進

- 自発的な気づき、発言の機会を作るためには、臨床実習の準備科目でロールプレイングなどを導入し、学生相互の意見交換を促す授業を設計していく。
- 臨床現場を想定したモデルも提示することで、臨床実習への橋渡しを行っていきたい。
- 臨床実習後には、報告会を開催し、自らの気づきや発見などをアウトプットする機会を設定する。
- 就職後の研究活動も推奨し、ゼミ生には学会発表を促す。

4. 課外活動

- バレーボール部の活動にも学外指導者とも連携して取り組み、現在、チームは北海道大学バレーボールリーグで 1 部で活躍をしている。

【評価・成果】

- 授業改善のためのアンケートを基に、学生の満足度や達成目標の到達度にて指導効果などを確認しているが概ね良い状況である。
- 国家試験の臨床医学系の出題内容について指導し、高い合格率の維持に貢献している。
- 学生の就職活動については、病院勤務経験を生かし、学生の特性に合った進路指導を行うとともに、企業就職も推奨している。また、学生の進路拡大のために積極的に企業訪問も行っている。
- ゼミ研究の成果は、学生も連名で大学紀要に発表している。

【目標】

- 短期目標
  - 入学した学生の基礎力向上を目指したい。特に、学習習慣がない学生や基礎学力の不足をしている学生に対するバックアップを行う。
  - 自ら考える力、問題を発見する力を醸成するために、双方向の授業やグループディスカッションを取り入れていく。
  - 医療専門職に必要な人間性や倫理、責務を意識した授業や実習を行いたい。
  - 医療施設や企業を目指せるように、病院と企業のそれぞれの良い点、課題などを説明し、学生の選択肢の幅を広くしていきたい。

- 長期目標
  - 本学の臨床工学科に入学した学生の満足度を上げたい。
  - 学生に卒業後に幅広い分野で力強く生きていく力をつけさせたい。